未だ口外の現在の情勢より考へて暫く考慮させ度旨との事であつたので上京左右田内閣書記
翰長と協議したのと、知事の主催を躊躇するは無理やらぬことで、知事を會長や顧問として協調會に
でも主唱させはとの意見であり、協調會に於ても三月中には具体案を作ると言つてゐたので一度まで
には權威ある産業奉公會として具体化すと確信してゐる。

亦第九回口際労働總會労働代表一行は去る一月十七日の日本労働組合會議の執行委員會
に於て労働代表八木信一氏、通訳員 井手清太郎氏(親联盟)顧問 原虎一氏(親同盟)
加藤良雄氏(製鉄)に決定した。

3、日本石炭坑夫組合報告　　宮崎太郎

イ、昨年八月より着工した筑豊労働會敘も同志諸君の熱烈なる献身と協力に依り本報は親工
費千二百円で竣工し、健実なる事務統制の上にみ健全なる組合は確立されると確信し、筑
豊の運動を正規の軌道に載せる決心で一月一日より会館竣工を機として厳格なる事務統制を開
始し得たのは同志諸君の賜と深謝してゐる。

ロ、會長の異常な努力に依り製鋼業組合支部の元役員瀬戸氏が筑豊のあらゆる中心として直方(本
社)に駐在されるので、直方は炭坑街より一転して町工場街と化しその数七十余、職工千徒弟工
を含めて一千二三百の労働者や農民、親同盟のフラクションも相当に生じ、先日の座談會より
十三、四名を公募せしめてゐるので、茲に有力をオルグを得れば組織拡大の希望は確信が持てる
元役員と協力して大に努力する決心でゐる。

4、石油労働組合西宇崎支部報告　　内野福太郎

イ、私共の會社は慈善的で不景気で雇工を作業の間に合はせて、最近、鶴見湾鉄道、ライジングサン社
で工着の者を大量就職し、會社は之等の失業者を雇工として低賃金で使用し得るので、
今回の賃金も不合理に断行されたにもかゝわらず、不満を漏し得ず、従業員は不安に陥されてゐる。

ロ、組合事業部としては共同購買を於ても成績は良好。

5、セメント労働組合門司支部報告　　越智克巳

イ、石灰部請負単價値下に端を発して内訌し、會社と警察の協力で一時を瀰縫してゐたが庚午會は
昨年の臨時戦に於て分裂し、現在派は大部分脱退を結成してゐたが去る月三十日健康保険組合評議員
選挙に於て庚午會より協定を提唱して来たので、解散対會社関係の諸問題並に従業員に関する事項に対
し協力委員會の如き特別機関の設置條件として選挙協定が成立した。庚午會は組合破壊のため會社の
御用組合として結成されたものであるが今日尚結成當時のイデオロギーを固持して組合との協同に反対してゐるも
のも二、三あるが庚午會が御用組合としての意義は解消してゐるので、然々この評議員会(本夜開催中)で
組合との協力委員會設置の否かが決定される筈であるが既に個人的に庚午會より組合に加入する者
が続いてゐる。庚午會の一部的意向は組合の発展として貴ばれと言つてゐる程である。

ロ、事業部として経営してゐる日本時鶴買組合も一時甚しい苦難時代に陥つてゐたが組合員の協力
に依り月四千円余の賃上げに達し、本春充実し物品倉庫の建築もいよ〳〵着業組合法公認申請
の書類も揃つたので三、四日内に市役所に提出して認可を待ることにしてゐる。

ハ、金融部の順調な発展と利用者の増加したため何分僅かの金額を一人回収するに莫大な労力を要して
之が簡易化が要求されてゐたが、会社と交渉の結果、購買金と共に金融部の回収金も給料から
控除することの快諾を得て金融部の事業は益々円満に行はれてゐる。

6、製鋼労働組合小倉支部報告　　徳田吉松

イ、各事業共極めて順調円満に進行してゐる。去る一月十日には三本組合長、斉藤青年部長を迎へ
て青年部の座談會を開催した。更に幹事會承認を得て、青年部教育と重点を置き、新入
會者には前衛隊員たる義務を二年間負わせ、その教育として労働経済誌を購読させてゐる。

住